令和6 年度　〔　国　語　科　〕シラバス

北海道北見緑陵高等学校

教科	科目	単位数	種別	年次	
国語	現代の国語	2	必修科目	1年	
使用教科書	現代の国語(大修館)			担当者	

学習目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
学習方法	現代の国語で書かれたさまざまな作品を読解し、語句、漢字、知識等の定着をはかる。 実践的な言語活動を通して論理的な思考力、深く共感したり豊かに想像したりする力、他者とのかかわりの中で互いに伝え合い高め合う力を向上させる。

学習評価

育成を目指す資質・能力		育成を目指す資質・能力の評価内容
1	基礎的・基本的学力	基礎的・基本的学力を身につけ、その知識・技能を他の学習や生活の場面でも活用することができる。
2	課題解決能力	社会的諸事象を多面的・多角的に考察して、具体的な課題を設定し、解決に向かうことができる。
3	情報活用能力	多様な着眼点から、適切に情報を収集し、課題解決法や自分の考えの形成に役立てることができる。
4	自己表現力	目的や意図に応じて、自分の考えを分かりやすくまとめ、表現することができる。
5	主体性	課題解決に向け、主体的に追究することができる。
6	協働性	課題に対して、他者と連携し、力を合わせて解決を図ることができる。
7	自己理解	諸活動を通じて自己の在り方生き方を考えることができる。
8	社会貢献(社会参画)	地域社会とのつながりについて理解し、持続可能な社会について考察することができる。

以上の観点をふまえ、
総合的に評価します。

担当者から

主として教科書所収の作品をよく読み理解を深めるとともに、語句、漢字、知識の定着をはかりましょう。
「話す・聞く」「書く」「読む」のそれぞれの活動に積極的に取り組み、総合的な国語の力を身につけていきましょう。

月	大単元	単元(題材)	学習内容	重点評価事項(資質・能力)								単元(題材)の評価規準			評価方法
				1	2	3	4	5	6	7	8	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
4	話すこと・聞くこと1 10時間	自己紹介スピーチ	自己紹介スピーチを通じて、「話すこと・聞くこと」の基本を学ぶ。	○			○	○				話し言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、分かりやすさに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。	「話すこと・聞くこと」において、話し言葉の特徴を踏まえて話し、相手の理解が得られるように表現を工夫している。	聴衆に対する発表を通して、話し言葉の特徴を理解し、相手の理解を得られるよう、表現を粘り強く工夫する中で、自らの学習を調整しようとしている。	確認テスト 小テスト 授業内の活動レポート、課題の取り組み状況 などを基に総合的に評価する
5	書くこと1 8時間	実用的な文章の作成	実社会の中から選んだ適切な題材をもとに、案内文や通知文など実用的な文章を作成する基礎的な方法を学ぶ。		○	○	○					書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、分かりやすさに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。	目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝える内容を検討している。	書き言葉の特徴を理解し、相手の理解を得られるよう、表現を粘り強く工夫する中で、自らの学習を調整しようとしている。	
6	読むこと1 10時間	論理的な文章の読解	文章構成や論理展開等を追いながら適切な読解方法を学ぶ。	○	○		○					文章の効果的な組み立て方や接続の仕方、比喩等の修辞や述べ方について理解している。	内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。	内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めようとしている。	
8	書くこと2 8時間	論理的な文章の作成	論理的な文章を読み、考えたことを適切に文章化する力を学ぶ。		○	○	○					書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、必要な語句や修辞の量を増やし、語感を磨き、語彙を豊かにしている。	目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝える内容を検討している。	書き言葉の特徴を理解し、相手の理解を得られるよう、表現を粘り強く工夫する中で、自らの学習を調整しようとしている。	
10	話すこと・聞くこと2 10時間	話し合いの作法	実社会の中から選んだ適切な題材をもとに、話し合いの仕方を学ぶ。	○			○	○				話し言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、分かりやすさに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。	「話すこと・聞くこと」において、話し言葉の特徴を踏まえて話し、相手の理解が得られるように表現を工夫している。	聴衆に対する発表を通して、話し言葉の特徴を理解し、相手の理解を得られるよう、表現を粘り強く工夫する中で、自らの学習を調整しようとしている。	
11	書くこと3 8時間	読み手の理解が得られる文章の作成	読み手の理解が得られるよう、説得力ある文章の作成の仕方を学ぶ。		○	○	○					書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、必要な語句や修辞の量を増やし、語感を磨き、語彙を豊かにしている。	目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝える内容を検討している。	書き言葉の特徴を理解し、相手の理解を得られるよう、表現を粘り強く工夫する中で、自らの学習を調整しようとしている。	
12	読むこと2 10時間	論理的な文章の読解	文章構成や論理展開等を追いながら適切な読解方法を学ぶ。	○	○		○					文章の効果的な組み立て方や接続の仕方、比喩等の修辞や述べ方について理解している。	内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。	内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の	
3	書くこと4 6時間	実用的な文章の作成2	調べたことを整理して、報告書や説明資料などにまとめる活動を行う。		○	○	○					書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、必要な語句や修辞の量を増やし、語感を磨き、語彙を豊かにしている。	目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝える内容を検討している。	書き言葉の特徴を理解し、相手の理解を得られるよう、表現を粘り強く工夫する中で、自らの学習を調整しようとしている。	
	70時間														

令和６年度　〔　国　語　科　〕シラバス

北海道北見緑陵高等学校

教科	科目	単位数	種別	年次	
国語	言語文化	2	必修科目	1年	
使用教科書	高等学校　言語文化（数研出版）			担当者	

学習目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
学習方法	教科書に収められている作品の読解を通じて上代から近現代に受け継がれてきた我が国の言語文化に対する理解を深める。 作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める。

学習評価

育成を目指す資質・能力		育成を目指す資質・能力の評価内容
1	基礎的・基本的学力	基礎的・基本的学力を身につけ、その知識・技能を他の学習や生活の場面でも活用することができる。
2	課題解決能力	社会的諸事象を多面的・多角的に考察して、具体的な課題を設定し、解決に向かうことができる。
3	情報活用能力	多様な着眼点から、適切に情報を収集し、課題解決法や自分の考えの形成に役立てることができる。
4	自己表現力	目的や意図に応じて、自分の考えを分かりやすくまとめ、表現することができる。
5	主体性	課題解決に向け、主体的に追究することができる。
6	協働性	課題に対して、他者と連携し、力を合わせて解決を図ることができる。
7	自己理解	諸活動を通じて自己の在り方生き方を考えることができる。
8	社会貢献（社会参画）	地域社会とのつながりについて理解し、持続可能な社会について考察することができる。

以上の観点をふまえ、
総合的に評価します。

担当者から

我が国の言語文化に対する理解を深めましょう。
作品の内容や解釈を踏まえて、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めましょう。

月	大単元	単元（題材）	学習内容	重点評価事項(資質・能力)								単元（題材）の評価規準			評価方法
				1	2	3	4	5	6	7	8	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
4	現代文①	言語文化への視点 6時間	言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解する。	○	○	○						言葉には、文化の継承、発展、想像を支える働きがあることを理解している。	読むことにおいて、作品や文章の成立した背景やその内容、解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。	積極的に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつ中で、自分の学習を調整しようとしている。	単元テスト 小テスト 授業時の取り組み ノート、課題の記載内容 などを元に評価する。
5		言葉の紡ぐ世界 8時間	文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えるとともに、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。	○	○		○								
6	古文	古文に親しむ 10時間	我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深める。	○	○	○						我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深めている。	文章の構成や展開、表現の仕方、表現について評価するとともに、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。	作品について自分の見解をもち、他者との意見交換を通して、進んで自分のものの見方、考え方、感じ方を深めようとしている。	
8		自然へのまなざし 6時間	文章の構成や展開、表現の仕方、表現について評価するとともに、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深める。	○	○		○								
9		想いを表す言葉 8時間	本歌取りや折句など用いて、感じたことや発見したことを短歌や俳句で表したり、伝統行事や風物詩等の文化に関する題材を選んで、随筆などを書いたりする。	○		○	○								
10	漢文	漢文に親しむ 8時間	我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解するとともに、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解する。	○	○	○						古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。	作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。	作品について自分の見解をもち、他者との意見交換を通して、進んで自分のものの見方、考え方、感じ方を深めようとしている。	
12		現代に生きる言葉 8時間	文章の構成や展開、表現の仕方、表現について評価するとともに、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深める。	○	○		○								
1		想いを表す言葉 4時間	作品の解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持つ。			○		○		○					
2	現代文②	表現の多様性 6時間	言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解する。	○	○	○						言葉には、文化の継承、発展、想像を支える働きがあることを理解している。	読むことにおいて、作品や文章の成立した背景やその内容、解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。	積極的に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつ中で、自分の学習を調整しようとしている。	
3	現代文③	文学と人生 （書くこと） 6時間	自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫する。			○	○			○		生涯にわたる社会生活において必要な国語の知識や技能について理解し適切に使うことができる。	自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写語句などの表現の仕方を工夫している。	自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしようとしている。	
		70時間													

令和６年度　〔　国　語　科　〕シラバス

北海道北見緑陵高等学校

教科	科目	単位数	種別	年次	
国語	論理国語	4	選択科目	3年	
使用教科書	新編　論理国語（大修館）			担当者	

学習目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
学習方法	実社会に必要な国語の知識や技能を身に着けるため、様々な形式の文章を論理的・批判的に考察しながら読む。 論理的な文を書いたり、批判的に読んだりし、社会生活で他者に相手の意向を伝える力を養うための演習を行っていく。

学習評価

育成を目指す資質・能力		育成を目指す資質・能力の評価内容
1	基礎的・基本的学力	基礎的・基本的学力を身につけ、その知識・技能を他の学習や生活の場面でも活用することができる。
2	課題解決能力	社会的諸事象を多面的・多角的に考察して、具体的な課題を設定し、解決に向かうことができる。
3	情報活用能力	多様な着眼点から、適切に情報を収集し、課題解決法や自分の考えの形成に役立てることができる。
4	自己表現力	目的や意図に応じて、自分の考えを分かりやすくまとめ、表現することができる。
5	主体性	課題解決に向け、主体的に追究することができる。
6	協働性	課題に対して、他者と連携し、力を合わせて解決を図ることができる。
7	自己理解	諸活動を通じて自己の在り方生き方を考えることができる。
8	社会貢献（社会参画）	地域社会とのつながりについて理解し、持続可能な社会について考察することができる。

以上の観点をふまえ、
総合的に評価する。

担当者から

卒業後、「他者」と関わる機会が増えていくみなさんに、自分の気持ちを論理的に伝える力を身に着けてほしいと思っています。他者とは、広く社会生活で関わりをもち、世代・立場、文化的背景などを異にする多様な相手のことです。実社会で活躍していくための、文章を読む力や書く力、話す力を身に着けるために、様々な演習を行っていきましょう。

月	大単元	単元（題材）	学習内容	重点評価事項(資質・能力)								単元（題材）の評価規準			評価方法
				1	2	3	4	5	6	7	8	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
4	読むこと1　18時間	評論①	文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深める。	○		○	○					言葉には言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解できる。	読むことにおいて、文章の種類を踏まえて、内容や構成論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握できる。	自分たちが日常的に用いている言葉について改めて考え、その仕組みや役割を知ろうとしている。	単元テスト レポート グループ学習等の演習
5		評論②	文の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深める。	○		○	○								
6	書くこと1　19時間	評論③	情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め、使う。	○	○	○						論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにできる。	書くことにおいて、実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決められる。	情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解しようとしている。	
7	書くこと2　15時間	評論④	推論の仕方につて理解を深め、使う。	○		○			○			推論の仕方について理解している。	書くことにおいて、情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえることができる。	自分のもつ情報を整理して、その関係をわかりやすく明確に表現しようとしている。	
8 9	読むこと2　16時間	評論⑤	実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して目的や意図に応じた適切な題材を決める。			○			○			文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めることができる。	読むことにおいて、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈できる。	関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めようとしている。	
10	書くこと3　19時間	評論⑥	文章の構成や展開、表現の仕方などについて、自分の主張が的確に伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて自分の文章の特長や課題を捉えなおしたりする。	○		○				○		文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めることができる。	書くことにおいて、立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して効果的な文章の構成や、論理の展開を工夫できる。	文章の構成や展開・表現の仕方などについて、自分の主張が的確に伝わるように書こうとしている。	
11	読むこと3　20時間	評論⑦	文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図と関係において多面的・多角的な視点から評価する。	○		○				○		新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めている。	読むことにおいて、関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めることができる。	書き手の意図に対して、相手や目的を考えた適切な構成になっているかなど、文章の表現を検討して書き手がどのように伝えようとしているか、その意図を推測しようとしている。	

12	読むこと4　19時間	評論⑧	関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深める。	○		○	○					主張とその前提や反証など、情報との関係について理解を深めている。	読むことにおいて、人間、社会、自然などについて、文章の内容や、解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めることができる。	与えられた情報を鵜呑みにせず、何が確かで何が不明確なのかを見分け、批判的に検討しようとしている。	
1	読むこと5　14時間	評論⑨	設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係づけて、自分の考えを広げたり深めたりする。	○		○	○					情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解している。	読むことにおいて、設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係づけて自分の考えを広げたり深めたりすることができる。	様々な方法によって設定した題材に関する情報を収集、整理し、それについて分析・考察を行ってわかったことや考えたことをまとめようとしている。	
	140時間														

令和６年度　〔　国　語　科　〕シラバス

北海道北見緑陵高等学校

教科	科目	単位数	種別	年次	
国語	文学国語	2	必修科目	2年	
使用教科書	新編　文学国語（大修館）			担当者	

学習目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
学習方法	文学的な文章について評価したり、その解釈の多様性について考察したりする。 自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、自ら課題を設定して探求できるようにする。
学習評価	育成を目指す資質・能力 / 育成を目指す資質・能力の評価内容

育成を目指す資質・能力		育成を目指す資質・能力の評価内容
1	基礎的・基本的学力	基礎的・基本的学力を身につけ、その知識・技能を他の学習や生活の場面でも活用することができる。
2	課題解決能力	社会的諸事象を多面的・多角的に考察して、具体的な課題を設定し、解決に向かうことができる。
3	情報活用能力	多様な着眼点から、適切に情報を収集し、課題解決法や自分の考えの形成に役立てることができる。
4	自己表現力	目的や意図に応じて、自分の考えを分かりやすくまとめ、表現することができる。
5	主体性	課題解決に向け、主体的に追究することができる。
6	協働性	課題に対して、他者と連携し、力を合わせて解決を図ることができる。
7	自己理解	諸活動を通じて自己の在り方生き方を考えることができる。
8	社会貢献（社会参画）	地域社会とのつながりについて理解し、持続可能な社会について考察することができる。

以上の観点をふまえ、
授業の取り組みや単元テスト、小テスト、課題の提出状況などを総合的に評価します。

担当者から	授業の取り組みや単元テスト、小テスト、課題の提出状況などを総合的に評価します。

月	大単元	単元（題材）	学習内容	重点評価事項(資質・能力)								単元（題材）の評価規準			評価方法
				1	2	3	4	5	6	7	8	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
4	読むこと・書くこと1 10時間	随筆（一）	表面だけからは簡単にはわからない心情や豊かな情景を味わい、文章の中で使うことを通して、語感を磨く。	○	○	○						作者の言葉には、想像力を豊かにする働きがあることを理解している。	随筆の特徴を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などをとらえている。	文章の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を理解しようとしている。	単元テスト、小テスト、課題提出状況、授業での取り組みなどを基に評価する。
6	読むこと・書くこと2 12 時間	小説（一）	文学的な文章を読み味わい、文体の特徴や修辞法などの表現を学んで理解する。	○	○		○					情景の豊かさや心情の機微を表す語句を増やし、語感を磨いている。	語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について考察し、内容を解釈することができる。	文学的な文章の題材について情報を収集、整理して、内容を明確にしようとしている。	
9	読むこと・書くこと3 16時間	随筆（二）	自然や人間などに対するものの見方、考え方、感じ方を読み味合う。	○	○		○					文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解しようとしている。	他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察することができる。	これまでに学んだ随筆と比較するなどして、文体の特徴や効果について考察することができる。	
11	読むこと・書くこと4 14時間	小説（二）	文学的な文章を読み味わい、題材に応じて情報を収集し、まとめをおこない、物語の内容を把握する。		○	○	○					文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現技法について理解しようとしている。	文章の構成や展開、表現方法を踏まえ、解釈の多様性について考察することができる。	登場人物の心情や情景の描写を、文体の表現の技法等に注意して、理解しようとしている。	
1	読むこと・書くこと5 6時間	韻文（一）	文体の特徴や修辞法の働きなどを学び、作者の心情を考慮して読み味わう。					○	○	○		詩歌に触れることで、修辞などの知識を養い、自由に発想できるようにする。	作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈している。	作品について、それぞれの観点から考えを深め、自分の発想や考えを確立することができる。	
3	読むこと・書くこと6 12時間	小説（三）	文章の構成や展開、表現方法などについて学び、作者の伝えたいことを感じとり、作者の意図を考察する。				○	○		○		文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解しようとしている。	どのような作品や文章に対しても解釈の多様性があることを理解している。	文章の構成や展開、表現方法などについて、作者の考えを感じとることができる。	
	70時間														

令和６年度　〔　国　語　科　〕シラバス

北海道北見緑陵高等学校

教科	科目	単位数	種別	年次	
国語	文学国語	2	必修科目	3年	
使用教科書	新編　文学国語（大修館）			担当者	

学習目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
学習方法	2年次に学んだことに加え、文学的な文章についてさらに評価したり、その解釈の多様性についてより深く考察したりする。 自分のものの見方、感じ方、考え方をいっそう深め、自ら課題を設定するとともにさらなる探求ができるようにする。

学習評価

育成を目指す資質・能力		育成を目指す資質・能力の評価内容
1	基礎的・基本的学力	基礎的・基本的学力を身につけ、その知識・技能を他の学習や生活の場面でも活用することができる。
2	課題解決能力	社会的諸事象を多面的・多角的に考察して、具体的な課題を設定し、解決に向かうことができる。
3	情報活用能力	多様な着眼点から、適切に情報を収集し、課題解決法や自分の考えの形成に役立てることができる。
4	自己表現力	目的や意図に応じて、自分の考えを分かりやすくまとめ、表現することができる。
5	主体性	課題解決に向け、主体的に追究することができる。
6	協働性	課題に対して、他者と連携し、力を合わせて解決を図ることができる。
7	自己理解	諸活動を通じて自己の在り方生き方を考えることができる。
8	社会貢献（社会参画）	地域社会とのつながりについて理解し、持続可能な社会について考察することができる。

以上の観点をふまえ、
授業の取り組みや定期考査、課題の提出状況などを総合的に評価します。

担当者から

授業の取り組みや定期考査、課題の提出状況などを総合的に評価します。

月	大単元	単元（題材）	学習内容	重点評価事項(資質・能力)								単元（題材）の評価規準			評価方法
				1	2	3	4	5	6	7	8	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
4	読むこと1 11時間	随筆（三）	表面だけからは簡単にはわからない心情や豊かな情景を深く味わい、文章の中で使うことを通して、語幹を磨く。	○	○	○						作者の言葉には、想像力を豊かにする働きがあることを深く理解している。	随筆の特徴を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確にとらえている。	文章の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。	課題 確認テスト 小テスト などを元に評価する。
6	読むこと2 12時間	小説（四）	文学的な文章を読み味わい、文体の特徴や修辞法などの表現を学んで、体系的に理解する。	○	○		○					情景の豊かさや心情の機微を表す語句を増やし、語感を磨き語彙を豊かにしている。	語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について考察し、内容を深く解釈することができる。	文学的な文章の題材について情報を収集、整理して、内容をより明確にしようとしている。	
8	読むこと3・書くこと1 11時間	随筆（四）	自然や人間などに対するものの見方、考え方、感じ方を豊かにするようにする。	○	○		○					文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めようとしている。	他の作品と比較するなどして、文体の特徴や効果についてより深く考察することができる。	これまでに学んだ随筆と比較するなどして、文体の特徴や効果について深く考えることができる。	
10	読むこと4 11時間	小説（五）	文学的な文章を読み味わい、題材に応じて情報を収集し、まとめをおこない、作者の表現したいテーマを読みとる。	○	○	○						文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現技法について、体系的に理解しようとしている。	文章の構成や展開、表現方法を踏まえ、解釈の多様性についてより深い考察をすることができる。	登場人物の心情や情景の描写を、文体の表現の技法等に注意して、理解を深めようとしている。	
11	読むこと・書くこと2 12時間	韻文（二）	文体の特徴や修辞法の働きなどを学び、作者の心情を掘り下げて考慮し読み取る。					○	○	○		詩歌に触れることで、修辞などの知識を養い、柔軟に、かつ自由に発想できるようにする。	作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。	作品について、それぞれの観点から考えを深め、お互いの発想や考えを認め合うことができる。	
1	読むこと・書くこと3 13時間	小説（六）	文章の構成や展開、表現方法などについて学び、作者の伝えたいことを感じとり、さまざまな角度から作者の意図を考察する。	○			○			○		文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めようとしている。	どのような作品や文章に対しても解釈の多様性があることを理解し、解釈が異なることもあるということを心得ている。	文章の構成や展開、表現方法などについて、作者の考えを感じとり、自分自身の作品に対するとらえ方を追求している。	
	70時間														

令和６年度　〔　国　語　科　〕シラバス

北海道北見緑陵高等学校

教科	科目	単位数	種別	年次	
国語	探究国語	4	選択科目	2年	
使用教科書	なし			担当者	

学習目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
学習方法	古今のさまざまな作品に触れ、その要旨を的確にとらえるとともに作品ごとの特色について理解する。 さまざまな作品を読み比べ、内容や表現などについての批評を通して自身の知識・思考を深める。
学習評価	育成を目指す資質・能力 / 育成を目指す資質・能力の評価内容

育成を目指す資質・能力		育成を目指す資質・能力の評価内容
1	基礎的・基本的学力	基礎的・基本的学力を身につけ、その知識・技能を他の学習や生活の場面でも活用することができる。
2	課題解決能力	社会的諸事象を多面的・多角的に考察して、具体的な課題を設定し、解決に向かうことができる。
3	情報活用能力	多様な着眼点から、適切に情報を収集し、課題解決法や自分の考えの形成に役立てることができる。
4	自己表現力	目的や意図に応じて、自分の考えを分かりやすくまとめ、表現することができる。
5	主体性	課題解決に向け、主体的に追究することができる。
6	協働性	課題に対して、他者と連携し、力を合わせて解決を図ることができる。
7	自己理解	諸活動を通じて自己の在り方生き方を考えることができる。
8	社会貢献（社会参画）	地域社会とのつながりについて理解し、持続可能な社会について考察することができる。

以上の観点をふまえ、
総合的に評価します。

担当者から	古典から近現代の作品まで、さまざまな文章を読解するとともに、それぞれの作品の批評に取り組み、各自の意見を述べ合います。

月	大単元	単元（題材）	学習内容	重点評価事項(資質・能力)								単元（題材）の評価規準			評価方法
				1	2	3	4	5	6	7	8	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
4	読解、批評	古典随筆	・作品の要旨を的確に把握し、さまざまな角度から検討して作品を批評する。 ・演習問題	○	○					○		古典古文を読むために必要な語彙力を高め、伝統的な言語文化に関する理解をより深めている。	作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら、自分の考えを深めている。	作者の捉え方・考え方を理解しようと努め、現代に生きる自分の捉え方・考え方を深めようとしている。	確認テスト 課題提出 授業時の取り組み ノートの記載内容 などを元に評価する。
5		近現代随筆	・作品の要旨を的確に把握し、さまざまな角度から検討して作品を批評する。 ・演習問題	○	○					○		近現代文を読むために必要な語彙や表現方法、漢字の知識等をより豊かにしている。	作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら、自分の考えを深めている。	作者の捉え方・考え方を理解しようと努め、さまざまな作品を比較検討することにより自分の捉え方・考え方を深めようとしている。	
6		古典説話	・作品の要旨を的確に把握し、さまざまな角度から検討して作品を批評する。 ・演習問題	○	○					○		古典古文を読むために必要な語彙力を高め、伝統的な言語文化に関する理解をより深めている。	作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら、説話文学の成立事情やモチーフの理解を深めている。	成立した背景や作者の捉え方・考え方を理解しようと努め、現代に生きる自分の捉え方・考え方を深めようとしている。	
7		近現代評論	・作品の要旨を的確に把握し、さまざまな角度から検討して作品を批評する。 ・演習問題	○	○					○		近現代文を読むために必要な語彙や表現方法、漢字の知識等をより豊かにしている。	論理的な文章をその構成のしかたや推論方法により的確に読み取り、論理的な思考力や判断力を高めることができた。	筆者の捉え方・考え方を理解しようと努め、さまざまな作品を比較検討することにより自分の捉え方・考え方を深めようとしている。	
8		古典物語	・作品の要旨を的確に把握し、さまざまな角度から検討して作品を批評する。 ・演習問題	○	○					○		古典古文を読むために必要な語彙力を高め、伝統的な言語文化に関する理解をより深めている。	作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら、物語文学の成立事情やモチーフの理解を深めている。	成立した背景や作者の捉え方・考え方を理解しようと努め、現代に生きる自分の捉え方・考え方を深めようとしている。	
9		近現代小説	・作品の要旨を的確に把握し、さまざまな角度から検討して作品を批評する。 ・演習問題	○	○					○		近現代文を読むために必要な語彙や表現方法・修辞法、漢字の知識等をより豊かにしている。	作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら、登場人物の心情を共感をもって深く理解し、自分の考えをを深め、感性を磨いている。	作者の捉え方・考え方や登場人物の心情を理解しようと努め、さまざまな作品を比較検討することにより自分の捉え方・考え方を深め、感性を磨こうとしている。	
10		古典日記・紀行	・作品の要旨を的確に把握し、さまざまな角度から検討して作品を批評する。 ・演習問題	○	○					○		古典古文を読むために必要な語彙力を高め、伝統的な言語文化に関する理解をより深めている。	作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら、古典の日記文学・紀行文学の成立事情やモチーフの理解を深めている。	成立した背景や作者の捉え方・考え方を理解しようと努め、現代に生きる自分の捉え方・考え方を深めようとしている。	
11		近現代評論2	・作品の要旨を的確に把握し、さまざまな角度から検討して作品を批評する。 ・演習問題	○	○					○		近現代文を読むために必要な語彙や表現方法、漢字の知識等をより豊かにしている。	論理的な文章をその構成のしかたや推論方法により的確に読み取り、論理的な思考力や判断力を高めることができた。	筆者の捉え方・考え方を理解しようと努め、さまざまな作品を比較検討することにより自分の捉え方・考え方を深めようとしている。	

12		古典漢文故事・漢詩	・作品の要旨を的確に把握し、さまざまな角度から検討して作品を批評する。 ・演習問題	○	○					○		古典漢文を読むために必要な語彙力を高め、訓読の方法、漢詩のきまりなどに関する理解をより深めている。	作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら、故事や漢詩の成立事情やモチーフ・思想の理解を深めている。	成立した背景や作者の捉え方・考え方を理解しようと努め、現代に生きる自分の捉え方・考え方を深めようとしている。	
1		近現代小説2	・作品の要旨を的確に把握し、さまざまな角度から検討して作品を批評する。 ・演習問題	○	○					○		近現代文を読むために必要な語彙や表現方法・修辞法、漢字の知識等をより豊かにしている。	作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら、登場人物の心情を共感をもって深く理解し、自分の考えをを深め、感性を磨いている。	作者の捉え方・考え方や登場人物の心情を理解しようと努め、さまざまな作品を比較検討することにより自分の捉え方・考え方を深め、感性を磨こうとしている。	
2		古典和歌	・作品の要旨を的確に把握し、さまざまな角度から検討して作品を批評する。 ・演習問題	○	○					○		古典古文を読むために必要な語彙力を高め、伝統的な言語文化に関する理解をより深めている。	作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら、個々の和歌の成立事情やモチーフ・心情の理解を深めている。	成立した背景や作者の捉え方・考え方を理解しようと努め、現代に生きる自分の捉え方・考え方を深め、表現方法に生かそうとしている。	
3		近現代短歌・俳句	・作品の要旨を的確に把握し、さまざまな角度から検討して作品を批評する。 ・演習問題	○	○					○		近現代文を読むために必要な語彙や表現方法・修辞法、漢字の知識等をより豊かにしている。	作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら、個々の和歌・俳句の成立事情やモチーフ・心情の理解を深めている。	成立した背景や作者の捉え方・考え方を理解しようと努め、さまざまな作品を比較検討することにより自分の捉え方・考え方を深め、感性を磨こうとしている。	

令和６年度　〔　国　語　科　〕シラバス

北海道北見緑陵高等学校

教科	科目	単位数	種別	年次	
国語	発展国語	2	選択科目	2年	
使用教科書	なし			担当者	

学習目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
学習方法	古今のさまざまな作品の読解を通して、多様な思考や豊富な語句に触れ、ものの見方、感じ方、考え方を深める。 作品について他者と語らうとともに、自身の考えを論理の展開や表現の仕方に留意しながらまとめて発表する。

学習評価

育成を目指す資質・能力		育成を目指す資質・能力の評価内容
1	基礎的・基本的学力	基礎的・基本的学力を身につけ、その知識・技能を他の学習や生活の場面でも活用することができる。
2	課題解決能力	社会的諸事象を多面的・多角的に考察して、具体的な課題を設定し、解決に向かうことができる。
3	情報活用能力	多様な着眼点から、適切に情報を収集し、課題解決法や自分の考えの形成に役立てることができる。
4	自己表現力	目的や意図に応じて、自分の考えを分かりやすくまとめ、表現することができる。
5	主体性	課題解決に向け、主体的に追究することができる。
6	協働性	課題に対して、他者と連携し、力を合わせて解決を図ることができる。
7	自己理解	諸活動を通じて自己の在り方生き方を考えることができる。
8	社会貢献（社会参画）	地域社会とのつながりについて理解し、持続可能な社会について考察することができる。

以上の観点をふまえ、
総合的に評価します。

担当者から

古典から近現代の作品まで、さまざまな文章をより深く鑑賞するとともに、多角的な視点をふまえながらそれぞれの作品の批評に取り組み、他者との意見交換を行います。

月	大単元	単元（題材）	学習内容	重点評価事項(資質・能力)								単元（題材）の評価規準			評価方法
				1	2	3	4	5	6	7	8	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
4	読解、批評、討論	古典随筆	・記されている内容について的確に読解し、他者の意見を参考にしながら多角的な視点をふまえて作品を批評する。 ・演習問題	○	○					○		古典古文を読むために必要な語彙力を高め、伝統的な言語文化に関する理解をより深め、意見交換における基本的な作法・態度について身に付けている。	作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、他者の意見・考えを参照しながら、自分の考えを深めている。	作者の捉え方・考え方を理解しようと努め、現代に生きる自分の捉え方・考え方を深めようとしている。また、他者の意見・考えに敬意を払いつつ、自分の意見・考えを能動的に述べようとしてる。	単元テスト 課題提出 授業の取り組み ノートの記載内容 などを元に評価する。
5		近現代随筆	・記されている内容について的確に読解し、他者の意見を参考にしながら多角的な視点をふまえて作品を批評する。 ・演習問題	○	○					○		近現代文を読むために必要な語彙や表現方法、漢字の知識等をより豊かに、意見交換における基本的な作法・態度について身に付けている。	作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、他者の意見・考えを参照しながら、自分の考えを深めている。	作者の捉え方・考え方を理解しようと努め、さまざまな作品を比較検討することにより自分の捉え方・考え方を深めようとしている。また、他者の意見・考えに敬意を払いつつ、自分の意見・考えを能動的に述べようとしてる。	
6		古典説話	記されている内容について的確に読解し、他者の意見を参考にしながら多角的な視点をふまえて作品を批評する。	○	○					○		古典古文を読むために必要な語彙力を高め、伝統的な言語文化に関する理解をより深め、意見交換における基本的な作法・態度について身に付けている。	説話文学の成立事情やモチーフの理解を深め、他者の意見・考えを参照しながら、自分の考えを深めている。	成立した背景や作者の捉え方・考え方を理解しようと努め、現代に生きる自分の捉え方・考え方を深めようとしている。また、他者の意見・考えに敬意を払いつつ、自分の意見・考えを能動的に述べようとしてる。	
7		近現代評論	・記されている内容について的確に読解し、他者の意見を参考にしながら多角的な視点をふまえて作品を批評する。 ・演習問題	○	○					○		近現代文を読むために必要な語彙や表現方法、漢字の知識等をより豊かにしている。	論理的な文章をその構成のしかたや推論方法により的確に読み取り、他者の意見・考えを参照しながら、論理的な思考力や判断力を高めることができた。	筆者の捉え方・考え方を理解しようと努め、さまざまな作品を比較検討することにより自分の捉え方・考え方を深めようとしている。また、他者の意見・考えに敬意を払いつつ、自分の意見・考えを能動的に述べようとしてる。	
8		古典物語	・記されている内容について的確に読解し、他者の意見を参考にしながら多角的な視点をふまえて作品を批評する。 ・演習問題	○	○					○		古典古文を読むために必要な語彙力を高め、伝統的な言語文化に関する理解をより深めている。	物語文学の成立事情やモチーフの理解を深め、他者の意見・考えを参照しながら、自分の考えを深めている。	成立した背景や作者の捉え方・考え方を理解しようと努め、現代に生きる自分の捉え方・考え方を深めようとしている。また、他者の意見・考えに敬意を払いつつ、自分の意見・考えを能動的に述べようとしてる。	

9		近現代小説	・記されている内容について的確に読解し、他者の意見を参考にしながら多角的な視点をふまえて作品を批評する。 ・演習問題	○	○					○		近現代文を読むために必要な語彙や表現方法・修辞法、漢字の知識等をより豊かにし、意見交換における基本的な作法・態度について身に付けている。	登場人物の心情を共感をもって深く理解し、他者の意見・考えを参照しながら、自分の考えを深めめ、感性を磨いている。	作者の捉え方・考え方や登場人物の心情を理解しようと努め、さまざまな作品を比較検討することにより自分の捉え方・考え方を深め、感性を磨こうとしている。また、他者の意見・考えに敬意を払いつつ、自分の意見・考えを能動的に述べようとしてる。	
10		古典日記・紀行	・記されている内容について的確に読解し、他者の意見を参考にしながら多角的な視点をふまえて作品を批評する。 ・演習問題	○	○					○		古典古文を読むために必要な語彙力を高め、伝統的な言語文化に関する理解をより深め、意見交換における基本的な作法・態度について身に付けている。	古典の日記文学・紀行文学の成立事情やモチーフの理解を深め、他者の意見・考えを参照しながら、自分の考えを深めている。	成立した背景や作者の捉え方・考え方を理解しようと努め、現代に生きる自分の捉え方・考え方を深めようとしている。また、他者の意見・考えに敬意を払いつつ、自分の意見・考えを能動的に述べようとしてる。	
11		近現代評論2	・記されている内容について的確に読解し、他者の意見を参考にしながら多角的な視点をふまえて作品を批評する。 ・演習問題	○	○					○		近現代文を読むために必要な語彙や表現方法、漢字の知識等をより豊かにしている。	論理的な文章をその構成のしかたや推論方法により的確に読み取り、論理的な思考力や判断力を高め、他者の意見・考えも参照しながら、自分の考えを深めている。	筆者の捉え方・考え方を理解しようと努め、さまざまな作品を比較検討することにより自分の捉え方・考え方を深めようとしている。また、他者の意見・考えに敬意を払いつつ、自分の意見・考えを能動的に述べようとしてる。	
12		古典漢文故事・漢詩	・記されている内容について的確に読解し、他者の意見を参考にしながら多角的な視点をふまえて作品を批評する。 ・演習問題	○	○					○		古典漢文を読むために必要な語彙力を高め、訓読の方法、漢詩のきまりなどに関する理解をより深めている。	故事や漢詩の成立事情やモチーフ・思想の理解を深め、他者の意見・考えを参照しながら、自分の考えを深めている。	成立した背景や作者の捉え方・考え方を理解しようと努め、現代に生きる自分の捉え方・考え方を深めようとしている。また、他者の意見・考えに敬意を払いつつ、自分の意見・考えを能動的に述べようとしてる。	
1		近現代小説2	・記されている内容について的確に読解し、他者の意見を参考にしながら多角的な視点をふまえて作品を批評する。 ・演習問題	○	○					○		近現代文を読むために必要な語彙や表現方法・修辞法、漢字の知識等をより豊かにし、意見交換における基本的な作法・態度について身に付けている。	登場人物の心情を共感をもって深く理解し、他者の意見・考えを参照しながら、自分の考えを深め、感性を磨いている。	作者の捉え方・考え方や登場人物の心情を理解しようと努め、さまざまな作品を比較検討することにより自分の捉え方・考え方を深め、感性を磨こうとしている。また、他者の意見・考えに敬意を払いつつ、自分の意見・考えを能動的に述べようとしてる。	
2		古典和歌	・記されている内容について的確に読解し、他者の意見を参考にしながら多角的な視点をふまえて作品を批評する。 ・演習問題	○	○					○		古典古文を読むために必要な語彙力を高め、伝統的な言語文化に関する理解をより深め、意見交換における基本的な作法・態度について身に付けている。	作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら、他者の意見・考えも参照しつつ個々の和歌の成立事情やモチーフ・心情の理解を深めている。	成立した背景や作者の捉え方・考え方を理解しようと努め、現代に生きる自分の捉え方・考え方を深め、表現方法に生かそうとしている。また、他者の意見・考えに敬意を払いつつ、自分の意見・考えを能動的に述べようとしてる。	
3		近現代短歌・俳句	・記されている内容について的確に読解し、他者の意見を参考にしながら多角的な視点をふまえて作品を批評する。 ・演習問題	○	○					○		近現代文を読むために必要な語彙や表現方法・修辞法、漢字の知識等をより豊かにし、意見交換における基本的な作法・態度について身に付けている。	作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら、他者の意見・考えも参照しつつ個々の和歌や俳句の成立事情やモチーフ・心情の理解を深めている。	成立した背景や作者の捉え方・考え方を理解しようと努め、さまざまな作品を比較検討することにより自分の捉え方・考え方を深め、感性を磨こうとしている。また、他者の意見・考えに敬意を払いつつ、自分の意見・考えを能動的に述べようとしてる。	

令和６年度　〔　国　語　科　〕シラバス

北海道北見緑陵高等学校

教科	科目	単位数	種別	年次	
国語	文章表現	2	選択科目	異年次合同	
使用教科書	なし			担当者	

学習目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
学習方法	近現代の文章に多く触れ、それぞれの作品における表現の特色を鑑賞ながら読解する。 それぞれの作品における表現技法の特長をふまえて文章を綴る。

学習評価

育成を目指す資質・能力		育成を目指す資質・能力の評価内容
1	基礎的・基本的学力	基礎的・基本的学力を身につけ、その知識・技能を他の学習や生活の場面でも活用することができる。
2	課題解決能力	社会的諸事象を多面的・多角的に考察して、具体的な課題を設定し、解決に向かうことができる。
3	情報活用能力	多様な着眼点から、適切に情報を収集し、課題解決法や自分の考えの形成に役立てることができる。
4	自己表現力	目的や意図に応じて、自分の考えを分かりやすくまとめ、表現することができる。
5	主体性	課題解決に向け、主体的に追究することができる。
6	協働性	課題に対して、他者と連携し、力を合わせて解決を図ることができる。
7	自己理解	諸活動を通じて自己の在り方生き方を考えることができる。
8	社会貢献（社会参画）	地域社会とのつながりについて理解し、持続可能な社会について考察することができる。

以上の観点をふまえ、
総合的に評価します。

担当者から	言語力を身につけながら、多くの文章に触れながらさまざまな表現を鑑賞するとともにそこに込められた内容を読解します。さらにはそうした表現の特色を鑑みながら実際に文章を著していきます。

月	大単元	単元（題材）	学習内容	重点評価事項(資質・能力)								単元（題材）の評価規準			評価方法
				1	2	3	4	5	6	7	8	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
4	言語力を身につながら、近現代の文章表現の鑑賞と読解、執筆	随筆の表現	作品の表現方法に留意しながら記されている内容について的確に読解し、その表現技法にのっとり文をしたためる。	○	○		○					話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、わかりやすさ、適切さ、経緯と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解している。	書くことにおいて、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や文体、語句などの表現の仕方を工夫している。	話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、言葉遣いについて理解し、自分の考えが的確に伝わるよう表現の仕方を工夫しようとしている。	単元テスト、小テスト、課題提出状況、授業時の取り組みなどを基に評価する。
5		評論の表現	作品の表現方法に留意しながら記されている内容について的確に読解し、その表現技法にのっとり文をしたためる。	○	○		○					文章の種類に基づく効果的な組み立て方や段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。	書くことにおいて、文章の構成や展開、表現の仕方について、自分の主張が的確に伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。	文章の種類に基づき、効果的な組み立て方や、文章構成、展開の仕方について理解し、自分主知用が的確に伝わるように書かれているか吟味し、文章を整えながら自分の文章を捉え直そうとしている。	
6		小説の表現	作品の表現方法に留意しながら記されている内容について的確に読解し、その表現技法にのっとり文をしたためる。	○	○		○					文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。	書くことにおいて、文学的な文章を書くために、選んだ題材に応じて情報を収集、整理して、表現したいこと明確にしている。	文学的な文章やそれに関する文章の種類などについて理解を深め、文学的な文章を書くための情報収集をして、表現したいことを明確にしようとしている。	
7		詩の表現	作品の表現方法に留意しながら記されている内容について的確に読解し、その表現技法にのっとり文をしたためる。	○	○		○					情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	読むことにおいて、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。	情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、語感を豊かにし、作品の解釈を踏まえた感じ方、考え方を深めようとしている。	
8		短歌・俳句の表現	作品の表現方法に留意しながら記されている内容について的確に読解し、その表現技法にのっとり文をしたためる。	○	○		○					言葉には文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。	読むことにおいて、作品の文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。	言葉には文化の継承、発展、創造を支えている働きがあることを理解し、内容の解釈を深めようとしている。	
9		日記の表現	作品の表現方法に留意しながら記されている内容について的確に読解し、その表現技法にのっとり文をしたためる。	○	○		○					自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、話や文章ので使うことを通して語感を磨き語彙を豊かにしている。	書くことにおいて、自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したりするなど表現の仕方を工夫している。	自分の思いや考えを多彩に表現する語句を増し、自分の思いや考えを明確し、事象を的確に描写するために表現を工夫しようとしている。	

10		スピーチ原稿の表現	作品の表現方法に留意しながら記されている内容について的確に読解し、その表現技法にのっとり文をしたためる。	○	○		○					文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。	書くことにおいて、情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠を揃えている。	文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深め、情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場を明確にするための根拠を揃えようとしている。	
11		広告の表現	作品の表現方法に留意しながら記されている内容について的確に読解し、その表現技法にのっとり文をしたためる。	○	○		○					情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め、使っている。	読むことにおいて、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。	情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解し、目的に応じた文章や図表に含まれた情報を関係づけながら文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めようとしている。	
12		随筆の表現　再び	作品の表現方法に留意しながら記されている内容について的確に読解し、その表現技法にのっとり文をしたためる。	○	○		○					話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、わかりやすさ、適切さ、経緯と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて更に理解し、使っている。	書くことにおいて、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や文体、語句などの表現の仕方を工夫し、的確に表現している。	話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、言葉遣いについて理解し、自分の考えが的確に伝わるよう表現の仕方を工夫しようとしている。	
3		評論の表現　再び	作品の表現方法に留意しながら記されている内容について的確に読解し、その表現技法にのっとり文をしたためる。	○	○		○					文章の種類に基づく効果的な組み立て方や段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方についてよく理解を深めている。	書くことにおいて、文章の構成や展開、表現の仕方について、自分の主張が的確に伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直し、改善できている。	文章の種類に基づき、効果的な組み立て方や、文章構成、展開の仕方について理解し、自分主知用が的確に伝わるように書かれているか吟味し、文章を整えながら自分の文章を捉え直そうとしている。	

令和６年度　〔　国　語　科　〕シラバス

北海道北見緑陵高等学校

教科	科目	単位数	種別	年次	
国語	実用現代文	2	選択科目	3年	
使用教科書	なし			担当者	

学習目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
学習方法	難語句の意味・漢字の読み等を確認しながら文章を読解し、自身の感想や考えをまとめ発表・意見交換をする。 興味・関心に従って読書活動を行うとともに書評に取り組み発表・意見交換をする。

学習評価

育成を目指す資質・能力		育成を目指す資質・能力の評価内容
1	基礎的・基本的学力	基礎的・基本的学力を身につけ、その知識・技能を他の学習や生活の場面でも活用することができる。
2	課題解決能力	社会的諸事象を多面的・多角的に考察して、具体的な課題を設定し、解決に向かうことができる。
3	情報活用能力	多様な着眼点から、適切に情報を収集し、課題解決法や自分の考えの形成に役立てることができる。
4	自己表現力	目的や意図に応じて、自分の考えを分かりやすくまとめ、表現することができる。
5	主体性	課題解決に向け、主体的に追究することができる。
6	協働性	課題に対して、他者と連携し、力を合わせて解決を図ることができる。
7	自己理解	諸活動を通じて自己の在り方生き方を考えることができる。
8	社会貢献（社会参画）	地域社会とのつながりについて理解し、持続可能な社会について考察することができる。

以上の観点をふまえ、
総合的に評価します。

担当者から

多くの評論を読み、論理的かつ批判的に考える力を向上させていきましょう。
作品を読んで感じたこと、考えたことを互いに伝え合い、自分の思いや考えを深めていきましょう。

月	大単元	単元（題材）	学習内容	重点評価事項(資質・能力)								単元（題材）の評価規準			評価方法
				1	2	3	4	5	6	7	8	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
4	評論文を中心とした現代文読解	評論・新聞コラム等の速読・精読①	論理的文章に特有な用語の意味・用法を理解し、記されてる内容について的確に読解する。	○	○	○						生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにしている。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。	確認テスト 小テスト レポート・プリント課題等の記載内容 等を元に評価する。
5			設問の意図について的確に理解し解答する。	○	○	○									
6			論拠をもって自身の意見を構築するとともに他者の意見を傾聴しそれに対する意見をもち発表する。	○	○	○									
7			論拠をもって自身の意見を構築するとともに他者の意見を傾聴しそれに対する意見をもち発表する。	○			○		○						
8		推薦本の紹介	読書をとおして見識を深め自身の考えをまとめる。	○	○	○						新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めようとしている。	論理的、批判的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。	
9			他者に伝わるよう努めるとともに他者の意見を傾聴しそれに対する意見をもち発表する。	○			○		○						
9		評論・新聞コラム等の速読・精読②	論理的文章に特有な用語の意味・用法を理解し、記されてる内容について的確に読解する。	○	○	○						生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにしている。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。	
10			設問の意図について的確に理解し解答する。	○	○	○									
10			論拠をもって自身の意見を構築するとともに他者の意見を傾聴しそれに対する意見をもち発表する。	○	○	○			○						
11			論拠をもって自身の意見を構築するとともに他者の意見を傾聴しそれに対する意見をもち発表する。	○			○		○						
12		書評	読書をとおして見識を深め自身の考えをまとめる。	○	○	○						新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めようとしている。	論理的、批判的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。	
1			他者に伝わるよう努めるとともに他者の意見を傾聴しそれに対する意見をもち発表する。	○			○		○						

令和６年度　〔　国　語　科　〕シラバス

北海道北見緑陵高等学校

教科	科目	単位数	種別	年次	
国語	国語一般教養	2	選択科目	3年	
使用教科書	なし			担当者	

学習目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
学習方法	国語の基礎知識を確認する。 高度な内容に挑戦できるように学習意欲を喚起していく。

学習評価

育成を目指す資質・能力		育成を目指す資質・能力の評価内容
1	基礎的・基本的学力	基礎的・基本的学力を身につけ、その知識・技能を他の学習や生活の場面でも活用することができる。
2	課題解決能力	社会的諸事象を多面的・多角的に考察して、具体的な課題を設定し、解決に向かうことができる。
3	情報活用能力	多様な着眼点から、適切に情報を収集し、課題解決法や自分の考えの形成に役立てることができる。
4	自己表現力	目的や意図に応じて、自分の考えを分かりやすくまとめ、表現することができる。
5	主体性	課題解決に向け、主体的に追究することができる。
6	協働性	課題に対して、他者と連携し、力を合わせて解決を図ることができる。
7	自己理解	諸活動を通じて自己の在り方生き方を考えることができる。
8	社会貢献（社会参画）	地域社会とのつながりについて理解し、持続可能な社会について考察することができる。

以上の観点をふまえ、
授業の取り組みや単元テスト、課題提出状況などを総合的に評価します。

担当者から

国語常識を知ることは、社会で生きていくうえで必ず役に立つ知識です。一般教養として国語力を身に着け、社会に出た際に役立ててほしいと願っています。幅広く「国語」を学んでいきましょう。

月	大単元	単元（題材）	学習内容	重点評価事項(資質・能力)								単元（題材）の評価規準			評価方法
				1	2	3	4	5	6	7	8	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
4	基本編	漢字の読み・書き	基礎的な国語力の充実を図る。	○		○		○				基礎的な国語力の充実が図られている。	これまでに学んだ事柄を整理し、自分の考えを相手に伝える力を身につけている。	国語一般常識を身につけようと意欲的に学習活動をおこなっている。	授業態度 発問に対する応答 課題の取り組みと提出 単元テスト などを元に評価を行う。
5		同音異義語・慣用語	これまでに学んだ事柄を整理し、自分の考えを相手に伝える力を身に着ける。	○		○		○							
6		ことわざ	国語一般常識を身に着けようと意欲的に学習活動を行う。	○		○			○						
6		近現代文学史	国語一般常識を身に着けようと意欲的に学習活動を行う。	○		○	○								
7	表現編	手紙の書き方	国語一般常識を用いながら、適切な表現をする。		○	○	○					手紙の書き方、文章の整え方、原稿用紙の使い方を身につける。	自身の感覚だけではなく、読む側、見る側のことを考える。	国語一般常識を用いながら、適切な表現ができる。	
8		文章の整え方	国語一般常識を用いながら、適切な表現をする。		○	○	○								
9		原稿用紙の使い方	国語一般常識を用いながら、適切な表現をする。		○	○	○								
10	発展編	漢字の読み・書き	基礎的な国語力の充実に加え、発展させる。	○		○		○				基礎的な国語力の充実に加え、発展させることができる。	これまでに学んだ事柄や知識を確かなものにし、実践的な応用力を身につけている。	国語一般常識の実践的な応用力を身につけようと意欲的に学習活動をおこなっている。	
11		同字異音・同字異訓	これまでに学んだ事柄や知識を確かなものにし、実践的な応用力を身に着ける。	○		○		○							
11		難読語	国語一般常識の実践的な応用力を身に着けようと意欲的に学習活動を行う。	○		○		○							
11		新聞記事・時事語	国語一般常識の実践的な応用力を身に着けようと意欲的に学習活動を行う。	○		○		○							
11		古典文学史	国語一般常識の実践的な応用力を身に着けようと意欲的に学習活動を行う。	○		○		○							
12	表現編	敬語の使い方	国語一般常識を用いながら、適切な表現で自分の意志を表す。	○		○	○					敬語の使い方などを習得し、自身の教養を高める。	詩を読み味わい、他者の発表にも耳を傾け、さまざまな角度からとらえられるようにする。	国語一般常識を身につけて、自分の考えを正確に相手に伝える十とtもに、相手の考えを理解できる。	
1		自己アピール文	他者の発表や作品を読み味わい、批評する。			○	○	○							
1		詩	他者の発表や作品を読み味わい、批評する。				○	○		○					
1		ブックトーク	他者の発表や作品を読み味わい、批評する。				○	○	○						

令和６年度　〔　国　語　科　〕シラバス

北海道北見緑陵高等学校

教科	科目	単位数	種別	年次	
国語	応用古典	2	選択科目	3年	
使用教科書	なし			担当者	

学習目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
学習方法	古典の文章を自在に読み取り、表現活動にも活かせるようする。
学習評価	育成を目指す資質・能力 / 育成を目指す資質・能力の評価内容 1 基礎的・基本的学力：基礎的・基本的学力を身につけ、その知識・技能を他の学習や生活の場面でも活用することができる。 2 課題解決能力：社会的諸事象を多面的・多角的に考察して、具体的な課題を設定し、解決に向かうことができる。 3 情報活用能力：多様な着眼点から、適切に情報を収集し、課題解決法や自分の考えの形成に役立てることができる。 4 自己表現力：目的や意図に応じて、自分の考えを分かりやすくまとめ、表現することができる。 5 主体性：課題解決に向け、主体的に追究することができる。 6 協働性：課題に対して、他者と連携し、力を合わせて解決を図ることができる。 7 自己理解：諸活動を通じて自己の在り方生き方を考えることができる。 8 社会貢献（社会参画）：地域社会とのつながりについて理解し、持続可能な社会について考察することができる。 以上の観点をふまえ、 総合的に評価します。
担当者から	これまでの科目で学んだ知識・読解力をベースに、より難度の高い古典の文章を中心に学びます。同時に、私たちの表現活動にも実際に活かせるような「古典」の力を身に付けましょう。

月	大単元	単元（題材）	学習内容	重点評価事項(資質・能力) 1	2	3	4	5	6	7	8	単元（題材）の評価規準 知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	評価方法
4	古文	説話	作品読解、古語を用いた表現活動	○		○				○		用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やすとともに、語感を磨き語彙を豊かにしている。	文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えるとともに、その語彙や表現の技法を参考にして、和歌や俳句を創作したり、体験したことや感じたことを文語で書いたりしている。	作品について自分の見解をもち、他者との意見交換を通して、進んで自分のものの見方、考え方、感じ方を深めようとしている。	確認テスト 小テスト 授業時の取り組み ノート、課題の記載内容 などを元に評価する。
4			作品読解、古語を用いた表現活動	○		○				○					
5		和歌、俳諧	作品読解、古語を用いた表現活動	○		○				○					
5			作品読解、古語を用いた表現活動	○		○				○					
6	漢文	故事成語	作品読解、漢文を用いた表現活動	○		○				○		古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解するとともに、作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。	古典の作品に関連のある事柄について調べその成果を発表したり、社会生活に役立つ知識の文例を集め、それらの現代における意義や価値などについてまとめたりしている。	積極的に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつ中で、自分の学習を調整しようとしている。	
6			作品読解、漢文を用いた表現活動	○		○				○					
7		史書	作品読解、漢文を用いた表現活動	○		○				○					
8			作品読解、漢文を用いた表現活動	○		○				○					
9	古文	物語、日記	作品読解、古語を用いた表現活動	○		○				○		古典を読むことを通して、我が国の文化の特質について理解するとともに、先人のものの見方、感じ方、考え方に親しもうとしている。	作品の成立した背景や他の作品などの関係を踏まえつつ、書き手の考えや目的、意図を捉えて内容の解釈を深めている。	古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしている。	
9			作品読解、古語を用いた表現活動	○		○				○					
10		随筆、紀行	作品読解、古語を用いた表現活動	○		○				○					
10			作品読解、古語を用いた表現活動	○		○				○					
11	漢文	詩	作品読解、漢文を用いた表現活動	○		○				○		古典の作品や古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めるとともに、先人のものの見方、感じ方、考え方に親しもうとしている。	古典を読み、その語彙や表現の技法などを参考にして、漢詩を創作したり、その内容の解釈を踏まえて朗読したりしている。	積極的に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつ中で、自分の学習を調整しようとしている。	
11			作品読解、漢文を用いた表現活動	○		○				○					
12		思想	作品読解、漢文を用いた表現活動	○		○				○					
1			作品読解、漢文を用いた表現活動	○		○				○					

令和６年度　〔　国　語　科　〕シラバス

北海道北見緑陵高等学校

教科	科目	単位数	種別	年次	
国語	文学研究	2	選択科目	3年	
使用教科書	なし			担当者	

学習目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
学習方法	古今のさまざまな文学作品を精読し、鑑賞・味読する。 文学作品の魅力について考えを述べ合い、創作を実践する。
学習評価	育成を目指す資質・能力 / 育成を目指す資質・能力の評価内容 1 基礎的・基本的学力：基礎的・基本的学力を身につけ、その知識・技能を他の学習や生活の場面でも活用することができる。 2 課題解決能力：社会的諸事象を多面的・多角的に考察して、具体的な課題を設定し、解決に向かうことができる。 3 情報活用能力：多様な着眼点から、適切に情報を収集し、課題解決法や自分の考えの形成に役立てることができる。 4 自己表現力：目的や意図に応じて、自分の考えを分かりやすくまとめ、表現することができる。 5 主体性：課題解決に向け、主体的に追究することができる。 6 協働性：課題に対して、他者と連携し、力を合わせて解決を図ることができる。 7 自己理解：諸活動を通じて自己の在り方生き方を考えることができる。 8 社会貢献（社会参画）：地域社会とのつながりについて理解し、持続可能な社会について考察することができる。 以上の観点をふまえ、 総合的に評価します。
担当者から	古典から近現代の作品までさまざまな文学作品を鑑賞・味読するとともに、作品と作者・時代情況とのかかわりやそもそも文学とは何かについて考究し、考えを述べ合います。また、創作にも挑戦し、表現力を身につける活動にも取り組みます。

月	大単元	単元（題材）	学習内容	重点評価事項(資質・能力) 1	2	3	4	5	6	7	8	単元（題材）の評価規準 知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	評価方法
4	古典文学	散文	作品の思想や心情、表現の魅力を主体的に鑑賞・味読し、文学に何ができるかを考え、積極的に他者と意見交換をする。演習問題にも取り組む。	○	○			○				文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。	読むことにおいて、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。	文学的な文章を読むことを通して、我が国の拳固文化の特質について理解を深め、内容や構成、展開、描写の仕方を的確に捉えようとしている。	単元テスト、課題提出、授業の取り組み、ノートの記載内容　などを元に評価する。
5		韻文	作品の思想や心情、表現の魅力を主体的に鑑賞・味読し、文学に何ができるかを考え、積極的に他者と意見交換をする。演習問題にも取り組む。	○	○			○							
6	近代文学	散文	作品の思想や心情、表現の魅力を主体的に鑑賞・味読し、文学に何ができるかを考え、積極的に他者と意見交換をする。演習問題にも取り組む。	○	○			○				文学的な文章や、それに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。	読むことにおいて、文章の構成や展開、表現の仕方お踏まえ、解釈の多様性について考察している。	文学的な文章や、それに関する文章の種類や特徴などについて理解を深め、文章の解釈の多様性について考察しようとしている。	
7		韻文	作品の思想や心情、表現の魅力を主体的に鑑賞・味読し、文学に何ができるかを考え、積極的に他者と意見交換をする。演習問題にも取り組む。	○	○			○							
8	現代文学1	散文	作品の思想や心情、表現の魅力を主体的に鑑賞・味読し、文学に何ができるかを考え、積極的に他者と意見交換をする。演習問題にも取り組む。	○	○			○				言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。	読むことにおいて、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。	言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解し、作品の解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対する者の見方、考え方を深めようとしている。	
9		韻文	作品の思想や心情、表現の魅力を主体的に鑑賞・味読し、文学に何ができるかを考え、積極的に他者と意見交換をする。演習問題にも取り組む。	○	○			○							
10	現代文学2	散文	作品の思想や心情、表現の魅力を主体的に鑑賞・味読し、文学に何ができるかを考え、積極的に他者と意見交換をする。演習問題にも取り組む。	○	○			○				文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現技法について、体系的に理解し、使っている。	書くことにおいて、文体の特徴や修辞の働きなどを考慮して、読み手を引き付ける独創的な文章になるよう工夫している。	文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現方法を使い、読み手を引き付ける独創的な文章になるよう工夫しようとしている。	
11		韻文	作品の思想や心情、表現の魅力を主体的に鑑賞・味読し、文学に何ができるかを考え、積極的に他者と意見交換をする。演習問題にも取り組む。	○	○			○							
12	創作	散文	文学表現の特殊性を主体的に把握し、自己表現の方法として活用する。演習問題にも取り組む。			○	○			○		情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き、語彙を豊かにしている。	書くことにおいて、文章の構成や展開、表現の仕方などについて、伝えたいことや感じてもらいたいことが伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉えなおしたりしている。	情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使いながら語彙を豊かにし、伝えたいことや感じてもらいたいことが伝わるように、文章の構成や表現の仕方などを吟味しながら、文章を整え、読み手の助言を受け、自分の文章を捉えなおそうとしている。	
1		韻文	文学表現の特殊性を主体的に把握し、自己表現の方法として活用する。演習問題にも取り組む。			○	○			○					